

種智院大學 同窓會報

第17号

平成6年12月21日

京都市南区壬生通八条下東寺町545
種智院大學同窓會

平成6年度同窓會總會開催

平成6年6月17日(金)午後1時より、母校講堂にて同窓會總會を開催。昭和62年に同窓會總會を再興して以来7年。毎年、欠かすことなく継続してきた。「継続は力なり」という言葉どおり、總會は定期的開催として十分に位置づけられてきた。

今總會は、恒例どおり物故者慰靈法要より始まり、経頭には岡山より御出席の岩崎増修師(昭和17年卒)にお願いした。会長池田瑩輝猥下より開会の挨拶があり、昨年の土宜法龍猥下渡米百周年の記念行事の成功により、同窓會活動がいっそう強固なものとなり、今總會を迎えるに至った旨、述べられ、参加された一人一人の同窓生の方々との再会の喜びを表明された。

次に来賓代表として、本学々長今井圓明猥下が挨拶され、この一年間における本学の教育改革について報告。第一に教員として不適格との見地から退職を願った元教授による仮処分申請の裁判について大学側の主張が全面的に認められたことを報告。弘法大師の建学の精神を体して、正常なる教育、適切なる教育の推進を懸命に図っていることを表明。しかし残念なことに、一部の方には、このような方向への順応を拒む傾向がみられ、今後とも正常かつ適切なる大学運営を進めたいと力強く述べられた。

第二には、寺院子弟教育の充実を図るために入試制度の改革を進めるとのことがあげられた。すでに文部省においても多様な入試制度が提唱されており、本学においても平成6年度より宗門後継者枠の入試を実施したが、次年度はさらに徹底し、宗門と大学との均衡発展を願う立場を示された。

第三には、密教文化コースの増設、博物館学芸員養成課程の新設を含め、大学の大幅なカリキュラム改定を実施し、時代のニーズにも応えていくことを明示された。今井学長就任三年目の今年、

よりいっそう大学の充実をはかり、一丸となった運営に邁進していくことが報告された。

ついで議事に入り、座長に東田教範師を満場一致で選出。平成5年度事業報告、決算報告の審議に入り、監査の川村俊朝師より会計が適正になされている旨の報告を受け、承認。平成6年度事業計画、予算については事務局より、低下している会費収入について、今年度より大学の協力を頂き卒業年次の学生諸君に会費徴収のお願いをすることが報告され、同窓會運営の健全化への努力が示され、承認となった。また審議にさいして、会費未納の方々について各支部あてに連絡し、各支部からも納入のお願いにあたってはどうかとの意見も出され、この方向で事務を進めることが了承された。

最後に今井学長の報告をうけて、大学の将来計画、現状の問題点について質問があり、今井学長より大学の持つ基本問題をひとつひとつ解決し、明るい将来計画を実現するために、全力であっているが、早急に解決すべきものと、簡単にはいかない問題等、課題は多い。しかし、積極的に母校の発展を願う立場から、事にあたる姿勢に変わりないことを明快に回答された。

平成6年度總會は以上の審議をおこない、洛南高等学校長の田中純應師より閉会の挨拶が述べられ終了した。引きつづき記念写真の撮影があり、その後ただちにペマ・ギャルポ先生の記念講演が行われた。

講演には大学の先生方の協力により、当該時間の授業科目の受講生も講演を聴講。TV等で活躍され、貴重な意見を提唱されている、ペマ先生の警咳に接すべく、学生諸君の参加が実現した。またこの催しを知って参加された公開講座を受講している市民の方々も加わり、会場はほぼ満席の200余名の聴衆者で埋まった。

池田会長より講師のペマ・ギャルポ先生の紹介があり、これをうけてペマ先生より「現代チベット事情」の講演があった。ここでは、中国政府とチベットとの抗争を軸に、その悲しむべき歴史から説きおこされ、そこに至った原因を考察し、政治状況に起因する悲惨な事件が明らかにされた。しかしペマ先生は、そのことは、あくまでも中国政府との問題であり、中国人民への怒りとか憎しみでは決してないこと、漢民族にはチベット人にはない、すぐれた特性もあり、お互いに認め合う人間としてのあり方にも言及され、外交問題に対する先生の考えを示されたのであった。

参加した学生諸君も熱心に聞き入り、ペマ先生の主宰されるチベット文化研究会について、多くの学生から関心が寄せられ、講演終了後も先生に質問する学生が次々とあられ、また先生も丁寧に答えられていたことが印象的であった。

大学での行事を終え、次に会場をブライトンホテルに移し、懇親会に入った。

ここでは各年代ごとに現況を語り合ったが、平

成元年に退職された福田泉正先生も駆けつけ、今井学長の英断によってなされた一連の学内改革に熱きエールを送られ、会はいっそうの盛り上がりを見せ、午後6時40分、全ての日程を終えたのであった。

参加者 (順不同・敬称略)

井上 紀生	岩崎 増修	安東 法秀
高吉 清順	江坂 宗純	川村 俊朝
木村 大廣	澤 実英	田中 実道
蓮沼 雅春	法本 弘文	森 見章
今井 圓明	川崎 龍性	田中 純應
東田 教範	前田 和連	山田 達圓
石坪 昭真	生駒 研性	市橋 眞明
池田 瑩輝	足立 有教	加門 得勇
田井 秀戒	井上 亮淳	福嶋 尊光
井出 寶泉	嶋 裕海	都筑 大乘
宇垣 泰明	沖津 祐樹	福田 泉正
佐々木 龍宝	松森 良樹	長谷 法寿

[大学]

頼富 本宏	吉田 元博	宮城洋一郎
児玉 義隆	下山 博	



平成7年度種智院大学入試

- | | | |
|---|---------------------|------------|
| ① 推薦・A 宗門後継者推薦 | } 出願期間・11月1日～11月22日 | |
| B 指定校推薦 | | 試験日・11月29日 |
| 社会人入試 | | 合格発表・12月3日 |
| ② 前期入試・出願期間 1月6日～1月26日、試験日 2月2日、合格発表 2月8日 | | |
| ③ 後期入試・出願期間 2月9日～3月2日、試験日 3月9日、合格発表 3月14日
(含・宗門後継者枠) | | |

真言宗京都学園理事長に 吉田裕信猥下



昨年12月1日、真言宗京都学園理事会は、松村祐澄理事長の退任に伴う後任理事長に、総本山仁和寺門跡の吉田裕信猥下を満場一致で選出した。

吉田新理事長は周知のとおり、本学昭和24年卒業。これにより今井圓明大学学長、田中純應洛南高校長とともに、本学同窓生による学園運営が出発し、学園のますますの興隆に期待が寄せられている。

本学にて三学会開催

平成6年秋は、本学にとって、三つの学会が相次いで開催されるという、これまでにない活況を呈することになった。

①10月23日、24日 日本仏教社会福祉学会第29回学術大会開催。23日には、今井圓明学長を導師に物故者慰霊法要及び六波羅蜜寺住職川崎龍性先生の記念講演が開催された。

②11月4日、5日 日本密教学会第27回学術大会及び第32回密教学芸賞授賞式を開催。4日の学会記念講演では元京都大学教授牧田諦亮先生の記念講演等も開催。

③11月26日 仏教史学会第45回学術大会開催。同日の記念講演は高野山大学教授高木神元先生。

なお、詳細は次号にてお知らせ致します。

名刺交換広告募集

17号の発行が遅くなり恐縮ですが、恒例により第18号(明春2月刊行予定)名刺交換広告を次のとおり募集致します。毎回、関係各位に多大な御尽力を頂き、今17号も8頁に掲載のとおり貴重な広告を頂きました。

引きつづき、いっそうの御支援をお願い申し上げます。

◆募集〆切 明年1月30日

◆申し込み 葉書またはFAXにて下記まで

〒601 京都市南区壬生通り八条下る東寺545

種智院大学同窓会事務局

FAX (075) 681-5651

「西院流能禅方伝授録」全七巻

加藤宥雄編 定価 六五、〇〇〇円

「八結・金玉・異水伝授録」全一巻

加藤宥雄編 定価 一三、〇〇〇円

「西院流伝授手控」

土宜法龍筆写 定価 二、〇〇〇円

加藤宥雄筆

「堂上儀西院流傳法灌頂教授手鑑」

加藤宥雄筆写 定価 三、〇〇〇円

「東寺定額僧院之血脈相承次第」

定価 八〇〇円

「密教の世界―不動明王と莊嚴―」

定価 一、五〇〇円

高井隆秀教授
還暦記念論集 『密教思想』

定価 八、〇〇〇円

種智院大学密教学会

京都市南区壬生通八条下る東寺町五四五

☎(075)六八一―六五一三 千六〇一

振替京都〇―三〇三八

〈〈〈支部だより〉〉〉

【大阪支部総会】

平成6年度総会を4月27日(木)午後6時より大阪市南区の南海飯店にて開催。総会では平成5年度の活動報告、決算、平成6年度の予算案を審議。ここで支部役員会から提案のあった「過去3年間支部会費未納者に対して、案内状の発送等を割愛する件」について協議した。その結果、近年の卒業生の増加のため支部の事務能力の低下をきたしている現状は、十分に理解できるが、今一度様子をみるために、「平成6年度は、1度でも支部会費の納入があった方については案内を継続する」ことで了承。

平成5年度決算、平成6年度予算については原案どおり了承。

出席者(順不同・敬称略)

田中 実道	蓮沼 雅春	法本 弘文
西端 良諦	見城 芳行	藤崎 信幸
土屋 博秀	玉山 順彦	佐野 剛空
西田 義範		

[大学] 宮城洋一郎

【西中国支部総会】

日時 平成6年5月27日(金)

午後2時 役員会

午後3時 総会

場所 福山ニューキャッスルホテル

総会は3時より開催。司会は福島尊光師

座長に山本純一師を選出。

支部長東田教範師より開会挨拶があり、新たな決意を固めていく旨、述べられた。

つづいて、来賓として今井圓明学長より挨拶。大学現況について①人事面から②教育課程の面から③財政面から、それぞれ具体的に報告され、大学の正常にして適切なる運営に努力していることが述べられた。また、大学と大覚寺との提携により学園加行について報告もあり、宗門後継者教育の現状にもふれられた。

次に、昨年10月より真言宗京都学園理事長に就任された仁和寺門跡吉田裕信猊下より、学園経営の現状と将来について、意欲的に取り組んでいく抱負が述べられた。

つづいて議題に入り、新役員を別記のとおり承認。また東田支部長より、新卒者の名簿を早急に大学より送ってもらい、新卒者を励まし、会の継続をはかっていきたい旨の報告があった。

本部同窓会より事務局宮城氏から、総会にむけてのお願いも述べられた。

最後に、多田隆信副支部長より閉会のあいさつがあり、引きつづいて懇親会に移り、なごやかなうちに散会した。

出席者(順不同・敬称略)

多田 隆信	江坂 宗純	八木 龍生
吉田 裕信	東田 教範	福島 尊光
山本 純一	藤原 豊善	鈴木 宏教
吉武 正元		

[大学] 今井 圓明 宮城洋一郎

新役員

支部長	東田 教範	
副支部長	多田 隆信	福島 尊光
	藤原 豊善	
常任幹事	江坂 宗純	山本 純一
	増沢 寛順	
幹事	村上 重郷	八木 龍生
	鈴木 宏教	蓮住 信慶
	吉武 正元	
監査	片山 宥雄	蛸田 真光

会員消息 □□□□□□□□

■訃報

壁瀬灌雄師(昭和15年)元本学助教授、2月24日御遷化。平成4年度密教学芸賞受賞。醍醐寺理院住職。

川井法運師(昭和8年)元本学教務課長、元仁和寺教務課長。5月9日御遷化。

田中正信師(昭和15年)神戸市遍照光院住職。6月1日御遷化。

渡辺尚道師(昭和33年)泉涌寺派財務部長、泉涌寺塔頭戒光寺住職。7月24日御遷化。

圓 覚亮師(昭和12年)同窓会参与。岡山県笠岡市長法寺住職。8月4日御遷化。

最明俊雄師(昭和28年)岡山県牛窓町宝光寺住職。8月御遷化。

前納信義氏(昭和62年)大阪市大乘教大阪教会。9月4日御遷化。

福島仁良氏(昭和15年)七味本舗会長。9月9日御遷化。

篠畑俊成師(昭和23年)同窓会幹事、京都支部幹事。京都府綾部市満福寺住職。10月4日御遷化。

桑田仁乗師(大正12年)御室派大僧正、広島県府中市神宮寺名誉住職。10月21日御遷化。

同窓生短信

市橋眞明師（昭和25年、随心院事務長）『川柳説法』を刊行。発行所 随心院寺務局

池田光輝師（昭和51年）2月1日付 中山寺財務部長に御就任。

高松龍暉師（昭和32年）5月21日付 御室派教育学部長に御就任。

引間正寛氏（平成5年）第6回社会福祉士国家試験に合格。本学第一号の荣誉。

足立有教師（昭和28年）8月30日付 大覚寺派宗会議長に御就任。

須方智證師（昭和10年）10月1日付 大僧正に昇補（真言律宗）。

大学だより

入学式

平成6年度入学式を4月9日（土）午前10時より開催。今年度は136名が入学（うち10名編入学）今井圓明学長より入学許可が宣せられ、祝辞が送られた。昨年冬、新たに理事長に就任された吉田裕信猥下より祝辞が述べられた。来賓として田中純應洛南中高校長、東田教範東寺真言宗宗会議長も参列。入学式後参列した御父兄と教員との懇談もなごやかに行われ、子弟の本学入学の喜びと今後への期待が話し合われた。

降誕会

6月15日（水）東寺御影堂への行道から開始。比叡山行院々長堀沢祖門先生より「十二年籠山一比叡山の修行制度一」と題して記念講演があった。また山崎泰廣宗教部長の指導による阿字観も

行われるなど盛大に挙行された。

今年度の実行委員長は真木教日子君（二回生）であった。なお同副委員長は神野恵君（三回生）

配役

前讃（四智梵語） 山田 智
（大日讃） 沖田 憲信
（不動讃） 神浦 芳宏

祭文 湯通堂法姫
散華 吉武 春彦
対揚 峯 潤雅
唱礼 今井 圓明学長

中曲 松尾 充雄
後讃（四智漢語） 田中 密敬
（心略漢語） 宮津 智稔
（仏讃） 酒井 康幸

唱名礼 小城 秀全
大師和讃 神野 恵
会奉行 真木教日子
承仕 阪口 明弘

職衆 池田真彦 村上秀光 上山由香
羽柴照顕 西 明洋 青木慎吾
吉水 大 藤崎真吾 玉木良恵
北中 歩 高橋吉信 蒔田大就
稲毛 寛 木原圭一

五菩薩 瀧谷賢治 道成亮範 藤崎仁志

献華 山岡敦弥 神原正道
赤松布絵 岡田祥子 井出光香
松尾優子 中島小乃美 永井順子
福本智絵 日下部方美 白石祐佳
薬師寺るり 増田恵子 高見弥生
福永陽子 中村智亜紀 黒岩桜児
川西なつ美 池内幸恵 東知世子

校旗 新庄谷琢己 岡村 智
写真 栗崎宏昭 上出知紀
スタッフ 松田倫匡 木村但馬 柴崎貴秋
湯口智彦



降 誕 会

得度式

7月9日午前9時より講堂において、今井圓明
学長の戒師により執行された。

得度者は次のとおり。(順不同・敬称略)

石山 陽圓 高島 圓隆 高梨 智圓
高橋 弘圓 堂下 明香 永瀬 円瑛

池田 智然 太田 恵光 田川 璃香
池内 宏志 川西 宏華 三浦 宏彩
木村 本応 広浜 哲生 上田 妙海
浅海 圭海 榊原 正道 藤宮 妙政
小川 徹海 酒井 幸海 藤崎 真孝
池田 光法 根来 哲峰 清水 明宏
清水 弘誠 井手 光泉



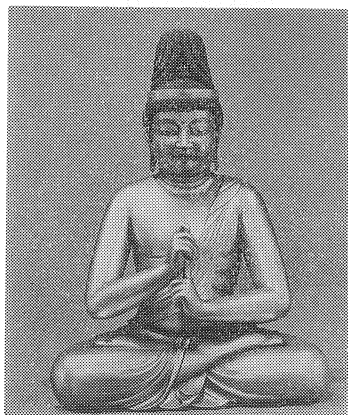
初の学園加行実施

かねてよりの懸案であった「学園加行」について、今般、大本山大覚寺当局の御協力を頂き実現することになった。これまで大覚寺宇喜多隆暁師(本学昭和46年卒業)と山崎泰廣宗教部長との間で交渉が進められ、大覚寺門跡上井寛圓猊下、同総長岡田高功師と本学今井圓明学長、頼富本宏学部長との間で正式に合意がなされ、前期加行を7月29日より9月27日と定めたのであった。

「学園加行」には本学卒業の鳥越英徳師(昭和49年)、杉崎圓覚師(昭和54年)、南本源師(昭和60年)、山下高仙師(平成元年)、東龍行師(平成2年)が指導員として参加、さらに今井学長、頼富学部長、山崎宗教部長、児玉義隆助教授、野口圭也講師、都筑大乘職員、宇垣泰明職員、沖津祐照職員等も随時指導監督に加わって行なわれた。

この間、大覚寺当局には多大な御支援を頂き、「学園加行」は前期日程を無事終了した。

加行参加者 玉久朋澄(4回生) 石山陽圓(3回生) 久野本有(3回生) 山田知圓(2回生)
島田大観(1回生) 田中密敬(1回生) 道成亮範(1回生) 広浜哲生(卒業生)



長谷法寿師高野山西塔本尊の制作完成

摩耶山天上寺の七観音像、摩耶夫人尊像の制作を機縁に『大法輪』、『文芸春秋』等にも紹介されて、種々の御縁を頂いている本学出身の仏師・長谷法寿師(昭和55年)は、このほど、高野山西塔本尊、大日如来像の制作にとりかかり、6月無事納入となった。西塔本尊の大日如来像が保護のため高野山霊宝館に移されることになり、代わりに置く本尊として制作依頼を受けたもの。長谷師は、これから多くの人々に拜まれることを思うと身の引きしめる思いで制作にあたったことを述べられている。これを機にさらに御縁が広がり、師の活躍が期待されている。

連絡先=京都市山科区日ノ岡堤谷町73-5 ☎(075)593-8335

公開講座開催

4月21日より7月21日まで、「仏教福祉シリーズ」として開催。いずれも同窓生、市民、学生諸氏が多数参加し、盛況であった。内容等は次のとおり。

4月21日(木) 11:30~12:30 シリーズ(1)「密教の社会的実践」

講師：種智院大学教授 宮城 洋一郎

弘法大師によって担われた社会的実践の成果は、日本の仏教のひとつの姿を示し、幅広く庶民信仰の礎となっていた。社会的実践を支えた密教の教えと僧侶の歩みを考えていく。

5月21日(土) 11:30~12:30 シリーズ(2)「京都の福祉を考える①」

講師：種智院大学教授 桂 泰三

京都府人口は260万人。老人ホーム定員は2,600人です。鹿児島県は180万人対し、同定員は8,000人です。京都の福祉は一体どうなっているのでしょうか。考えてみました。

6月21日(火) 11:30~12:30 シリーズ(3)「真言宗の近代社会事業史」

講師：種智院大学助教授 滝村 雅人

わが国では古代から住民の生活を支える上で仏教者の果たしてきた役割は大きかった。社会的に大きく変わった近代ではどうであったのか。今回は大正期にしぼって、真言宗の寺院・僧侶が住民の生活を支える上で果たしてきた役割とその実践を追ってみたい。

7月21日(木) 11:30~12:30 シリーズ(4)「福祉とケアのあり方をめぐって」

講師：花園大学教授 古橋 エツ子

人生80年となって人々のライフスタイルも変わり、育児・介護も今までとは異なった福祉の整備がせまられています。理想的な福祉とケアのあり方をめぐって、考えてみましょう。

☆10月21日より2月21日まで「仏教シリーズ」として開催。

- | | | | |
|--------|---------------------|--------------|-------|
| 10月21日 | 平安宮廷文学と仏教 | 本学非常勤講師 | 龍口 恭子 |
| 11月21日 | 『法華経』の世界 一良医治子のたとえ一 | 本学教授 | 苅谷 定彦 |
| 12月21日 | 『華嚴経』の世界 一さとりの遍歴一 | 広島大学教授 | 桂 紹隆 |
| 1月21日 | 写経の世界 | 京都国立博物館主任研究官 | 赤尾 栄慶 |
| 2月21日 | 『観無量寿経』の世界 | 本学教授 | 中川 英尚 |

総本山善通寺

法主 蓮 生 善 隆

〒七六五
香川県善通寺市
電話(〇八七七)六二一〇二一

総本山仁和寺門跡
真言宗御室派管長
真言宗京都学園理事長

吉 田 裕 信

〒六一六
京都市右京区御室大内
電話(〇七五)四六一一一一五

真言宗東寺派管長

藤 田 研 道

〒七九九一一一
愛媛県西条市氷見二一〇四八
電話(〇八九七)五七一八八六三

西国第二十四番靈場
明治天皇御手産勅願所
本尊 十一面觀世音菩薩

大本山 中 山 寺

〒六六五
宝塚市中山寺二丁目十一一
電話(〇七九九)八六一六五一七
FAX(〇七九九)八四一五六二一